

報告事項 ア

令和3年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験について

令和3年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験について、別紙のとおり報告します。

令和2年4月15日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては、日程、会場、試験内容等を変更する可能性があります。

項目	令和3年度選考試験	令和2年度選考試験
実施要項の交付及び出願期間	令和2年4月28日(火)から 令和2年5月20日(水)まで 持参・郵送 ※令和元年5月15日(金)まで 電子申請	平成31年4月25日(木)から 令和元年5月22日(水)まで 持参・郵送 ※令和元年5月17日(金)まで 電子申請
試験期日	〔一次試験〕 小学校教諭、特別支援学校教諭 令和2年6月28日(日) ※鳥取会場及び関西会場を設定 その他の試験区分 令和2年7月5日(日) ※鳥取会場 〔二次試験〕令和2年9月5日(土) ～9月13日(日) 小学校受験者に続き、特別支援学校受験者を確保するために、県外会場を設定	〔一次試験〕 小学校教諭 令和元年6月30日(日) ※鳥取会場及び関西会場を設定 その他の試験区分 令和元年7月7日(日) ※鳥取会場 〔二次試験〕令和元年8月31日(土) ～9月8日(日) 小学校教諭受験者を確保するため県外会場を新設
試験会場	〔一次試験〕 小学校教諭、特別支援学校教諭(6/28) 関西大学千里山キャンパス 鳥取県教育センター 鳥取湖陵高校 その他の試験区分(7/5) 鳥取県立鳥取西高校 鳥取市立北中学校 鳥取県教育センター 〔二次試験〕 鳥取県立鳥取湖陵高校、鳥取西高校 鳥取県教育センター	〔一次試験〕 小学校教諭(6/30) TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 鳥取県教育センター その他の試験区分(7/7) 鳥取市立湖東中学校 鳥取県立鳥取商業高校 鳥取県教育センター 〔二次試験〕 鳥取県立鳥取湖陵高校、鳥取西高校 鳥取県教育センター
受験資格	○年齢制限なし(ただし、採用時に定年に達していない者) ○特別選考 従来の「身体に障がいのある者を対象とした選考」に「精神障がいのある者」及び「知的障がいのある者」を追加し、「障害のある者を対象とした選考」として実施 ○普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考に係り、「実務経験を有する期間」を15年間で7年以上(従来は11年間で5年以上)	○年齢制限なし(ただし採用時に定年に達していない者) ○特別選考「身体に障がいのある者を対象とした選考」の出願要件の変更 ・「介助者なしで教員としての職務の遂行が可能な者」を削除
採用予定数	小学校教諭 85人程度 中学校教諭 54人程度 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 高等学校教諭 40人程度 国語、地理歴史(世界史)、地理歴史(日本史)、地理歴史(地理)、数学、理科(物理・地学)、理科(化学)、理科(生物)、芸術(音楽)、芸術(美術)、芸術(書道)、保健体育、英語、家庭、農業、工業(機械)、工業(電気・電子)、工業(建築・土木)、商業、水産、情報、福祉 特別支援学校教諭 20人程度 養護教諭 8人程度 計 207人程度	小学校教諭 85人程度 中学校教諭 55人程度 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 高等学校教諭 35人程度 国語、地理歴史(世界史)、地理歴史(日本史)、地理歴史(地理)、数学、理科(物理・地学)、理科(化学)、理科(生物)、芸術(音楽)、芸術(美術)、芸術(書道)、保健体育、英語、家庭、農業、工業(機械)、工業(電気・電子)、工業(建築・土木)、商業 特別支援学校教諭 25人程度 養護教諭 7人程度 計 207人程度
試験内容	小・特別支援学校教諭 〔一次試験〕 一般教養、専門試験(筆記試験)、適性検査 〔二次試験〕 専門試験(実技試験)、場面指導、個人面接、集団面接(グループワーク(以下GW)を含む) 中・高等学校教諭、養護教諭 〔一次試験〕 一般教養、専門試験(筆記試験、技能・実技試験)、適性検査 〔二次試験〕 場面指導、個人面接、集団面接(GWを含む)	小・特別支援学校教諭 〔一次試験〕 一般教養、専門試験(筆記試験)、適性検査 〔二次試験〕 専門試験(実技試験)、場面指導、個人面接、集団面接(グループワーク(以下GW)を含む) 中・高等学校教諭、養護教諭 〔一次試験〕 一般教養、専門試験(筆記試験、技能・実技試験)、適性検査 〔二次試験〕 場面指導、個人面接、集団面接(GWを含む)

<参考>

(1) その他の特別選考及び特例等

ア 障がいのある者を対象とした選考

- ・身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の被交付者あるいは障害者職業センターなどの公的機関で知的障がい者と判定された者  
※採用予定数の内、小・中・高等学校教諭・養護教諭で合計5人程度、特別支援学校教諭2人程度

イ スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考

- ・平成22年4月1日以降（高等学校卒業後に限る）
- ・スポーツの分野において、国際的な大会（オリンピック、パラリンピック、ユニバーシアード大会、世界選手権大会、アジア大会、及びこれらと同等の国際的な規模の大会）に日本代表として出場した者若しくは全国的な大会（国民体育大会、全日選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会、及びこれらと同等の全国的な規模の大会）でベスト4以上に入賞した者
- ・芸術の分野において、国際的又は全国的なコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者

ウ 現職教諭を対象とした選考

- ・本県以外で2年以上教諭として勤務し、現在も志願する試験区分に勤務している者
- ・すべての試験区分で志願可能

エ 県内公立学校の講師等を対象とした選考

- ・令和2年度採用試験において、一次選考試験に合格し、第二次選考試験のすべてを受験した者で、同一の試験区分、教科（科目等）に志願する者
- ・県内公立学校に鳥取県教育委員会任用の講師等としての在職期間が、平成30年4月1日から出願時までの間に25月以上ある者

オ 教職大学院修了者を対象とした選考

- ・教職大学院を修了または修了予定の者で、志願する試験区分、教科（科目等）に関する専修免許状を取得または取得見込の者

カ 普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考

- ・教諭普通免許状を所有していないが、民間企業、官公庁（教育関係機関を除く）等に正職員として7年以上の実務経験を有する者
- ・高等学校教諭の農業、工業（機械）、工業（電気・電子）、工業（建築・土木）、商業、水産が対象試験区分

キ 大学院進学希望者及び大学院修学継続希望者への特例

- ・令和4年度に国内の大学院を修了する予定の者  
→令和5年度採用候補者名簿に登載し、公立学校の教員として正式に採用
- ・令和3年度に国内の大学院を修了する予定の者  
→令和4年度採用候補者名簿に登載し、公立学校の教員として正式に採用

ク 英語に関する有資格者への加点

対象区分	英検	TOEFL	TOEFL L&R	TOEFL L&RとTOEIC S&Wの合計スコア	加点
中学校教諭 高等学校 教諭	1級	iBT 100点以上 PBT 600点以上	880点以上	1680点以上	25点
	準1級	iBT 80点以上 PBT 550点以上	730点以上	1405点以上	20点
小学校教諭 特別支援学 校教諭	1級	iBT 100点以上 PBT 600点以上	880点以上	1680点以上	25点
	準1級	iBT 80点以上 PBT 550点以上	730点以上	1405点以上	20点
	2級	iBT 45点以上 PBT 470点以上	550点以上	1100点以上	10点
	準2級	iBT 38点以上 PBT 400点以上	450点以上	925点以上	5点

ケ 複数免許状所有者への加点

- ・小学校教諭志願者で中学校教諭免許状所有者、中学校教諭志願者で小学校教諭免許状所有者、又は特別支援学校教諭志願者で中中高のうち2つ以上の免許状保有者に対して、第一次選考試験の筆記試験の合計点に10点加点 ※免許状取得見込みの者は対象としない

(2) 実施要項のホームページ掲載予定日

令和2年4月28日（火）

## 令和3年度（令和2年度実施）鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項の骨子について

令和2年3月13日  
鳥取県教育委員会

このことについて、下記のとおり定めました。

なお、下記に記載のない事項については、令和2年4月28日公表予定の鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項によることとします。

また、各試験区分の採用予定数並びに中学校教諭及び高等学校教諭において募集する教科（科目等）については、決定次第、鳥取県教育委員会ホームページで公表します。

## 記

## 1 主な変更点（詳細は該当する項目を参照）

- 第一次選考試験において、特別支援学校教諭を小学校教諭と同日とし、鳥取会場及び関西会場で試験を実施します。
- 併願可能な試験区分を拡大します。（→4（2）参照）
- 一般選考における加点制度を拡大します。（→4（3）参照）
- 次の特別選考の対象について。（→5参照）
  - ・障がいのある者を対象とした選考を拡充します。
  - ・普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考を変更します。

## 2 試験日程及び会場等

## (1) 実施要項の交付及び出願期間

申込方法	期 間
インターネット	令和2年4月28日（火）～5月15日（金）
郵送・持参	令和2年4月28日（火）～5月20日（水） ※消印有効

## (2) 第一次選考試験

試験日	試験区分	会 場
令和2年6月28日（日）	小学校教諭、特別支援学校教諭	鳥取会場及び関西会場
令和2年7月5日（日）	中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭	鳥取会場

## (3) 第二次選考試験

令和2年9月5日（土）～9月13日（日）のうち指定された2日間程度

## 3 受験資格

受験資格の年齢制限は設けません。（採用時に定年に達していない者（昭和36年4月2日以降に出生した者））

## 4 一般選考における内容

## (1) 試験内容

## &lt;小学校教諭、特別支援学校教諭&gt;

	試験項目	試 験 内 容 等
第一次 選考試験	一般教養	・一般常識を問う筆記試験（マークシート方式）
	適性検査	・第一次選考試験で実施するが、第二次選考試験判定のための参考資料とする
	専門試験（筆記試験）	・小学校教諭にあつては、国語、社会、数学、理科、英語の各教科及び教職教養に関する筆記試験（マークシート方式） ・特別支援学校教諭にあつては、特別支援教育、国語、社会、数学、理科、英語の各教科及び教職教養に関する筆記試験（マークシート方式）
第二次 選考試験	専門試験（実技試験）	・音楽、体育に関する実技試験
	場面指導	・当日提示する課題に沿って、学校における具体的な場면을想定した指導を実施
	集団試験	・グループワークを含む集団面接
	個人面接	・志望動機など

## &lt;中学校教諭、高等学校教諭、養護教諭&gt;

	試験項目	試 験 内 容 等
第一次 選考試験	一般教養	・一般常識を問う筆記試験（マークシート方式）
	適性検査	・第一次選考試験で実施するが、第二次選考試験判定のための参考資料とする
	専門試験	・各試験区分・教科（科目等）及び教職教養に関する筆記試験に加え、一部試験区分・教科（科目等）において技能・実技試験を課す
第二次 選考試験	場面指導	・当日提示する課題に沿って、学校における具体的な場면을想定した指導を実施
	集団試験	・グループワークを含む集団面接
	個人面接	・志望動機など

(2) 併願可能な試験区分の拡大

志願する試験区分	併願できる試験区分			
	小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭	特別支援学校教諭
小学校教諭		※【新設】		◎【新設】
中学校教諭	◎			◎【新設】
高等学校教諭				◎【新設】
特別支援学校教諭	◎【新設】	※【新設】	※【新設】	

◎：併願可能

※：志願する試験区分の試験内容に加え、併願する試験区分・教科（科目等）の専門試験を受験することで併願可能

(3) 加点対象の拡大

①英語に関する資格の所有者への加点

対象試験区分	基 準				加点	
	実用英語技能検定	TOEFL	TOEIC L&R	TOEIC L&R と TOEIC S&W の合算スコア		
小学校教諭 特別支援学校教諭	1級	iBT 100 点以上又は PBT 600 点以上	880 点以上	1680 点以上	25 点	【新設】
	準1級	iBT 80 点以上又は PBT 550 点以上	730 点以上	1405 点以上	20 点	
	2級	iBT 45 点以上又は PBT 470 点以上	550 点以上	1100 点以上	10 点	
	準2級	iBT 38 点以上又は PBT 400 点以上	450 点以上	925 点以上	5 点	【新設】

対象試験区分	基 準				加点	
	実用英語技能検定	TOEFL	TOEIC L&R	TOEIC L&R と TOEIC S&W の合算スコア		
中学校教諭（英語） 高等学校教諭（英語）	1級	iBT 100 点以上又は PBT 600 点以上	880 点以上	1680 点以上	25 点	【新設】
	準1級	iBT 80 点以上又は PBT 550 点以上	730 点以上	1405 点以上	20 点	

※TOEIC L&R と TOEIC S&W の合算スコアは、次により算出

$$(\text{合算スコア}) = (\text{L\&R トータルスコア}) + (\text{Sスコア}) \times 2.5 + (\text{Wスコア}) \times 2.5$$

②複数免許状所有者への加点

対象試験区分	要 件	加点
小学校教諭	中学校教諭普通免許状所有者（免許状の種類及び教科は問わない）	10 点
中学校教諭	小学校教諭普通免許状所有者（免許状の種類は問わない）	10 点
【新設】特別支援学校教諭	小学校教諭普通免許状、中学校教諭普通免許状、高等学校教諭普通免許状のうち2つ以上所有している者（免許状の種類及び教科は問わない）	10 点

5 特別選考

特別選考については、次のとおり募集します。試験内容等は、実施要項によることとします。

(1) 障がいのある者を対象とした選考

・従来の「身体に障がいのある者を対象とした選考」に「精神障がいのある者」及び「知的障がいのある者」を追加

(2) スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考

(3) 現職教諭を対象とした選考

(4) 県内公立学校の講師等を対象とした選考

(5) 教職大学院修了者を対象とした選考

(6) 普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考

・実務経験を有する期間等を「平成18年4月1日以降に民間企業、官公庁（教育関係機関を除く）等に正職員として令和3年3月31日現在において7年以上（休職、育児休業等の期間は除く。）」に変更

※(2)、(3)、(4)、(5)については、令和2年度選考試験と同様の主旨で実施

6 その他

令和2年度選考試験B登載者並びに令和3年度選考試験特別選考該当により第一次選考試験が免除される者の適性検査は、第二次選考試験において実施します。